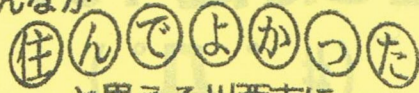




暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが



と思える川西市に...

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控室室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodemich.exblog.jp



## 突然の地震 (震度5弱) 大雨 電車が停まり 道路が遮断 市北部に2次救急対応の川西病院は絶対に必要

一の鳥居で朝宣伝中

6月18日(月)午前7時58分。私(黒田)は定例の「たんぽぽだより」朝宣伝で一の鳥居駅前。7時前から始め、そろそろご挨拶を終えようとしていた時、ものすごい音とともに高架の駅舎が大きく揺れた。一体何が、と思う間もなく、足元の地面の揺れで地震を自覚。その後けたたましい緊急アラーム。しばらくして能勢電車が緊急停止しているアナウンスを耳にする。

「病院は手術中止」

「大きな地震でした。電車は停まっているみたいです。気をつけて対応してください。」情報を十分把握できないまま、自分も9時30分から予定されている議会の事前説明に向かった。

大きく迂回し市役所へ やっと流れてきたカーラジオ。大阪で最大震度6弱の情報。情報を頼りにR173を一路市役所へ向かうが、多田・銀橋から南へは全く車が動いていない。踏切上で電車が停車か?とつさに判断し、大きく迂回・バイパス経由で市役所に到着した。

書籍散乱、会議は午後

庁内では書籍などの散乱が思ったよりひどい。職員がそれ

それ、全て点検にまわっている。午前に予定していた事前説明、建設公企常任委員会やまちづくり特別委員会は午後。

救急車も動けない

報道される被害状況を注視し急車すら動けなくなることながら、安否を気遣う電話やメー

現川西病院を閉鎖し、市北部から二次救急(手術・入院ができる)総合病院をなくす計画など絶対にさせてはならない。交通が遮断され、救

大災害への備えを

連日、日本全国で多発する大きな地震。市域全体を見渡して、日常が機能不全に陥ること

欠であり、市北部・猪名川・豊能・能勢の医療拠点は絶対に必要である。

自然災害

マグニチュード6.1、最大震度6弱の大阪北部地震。川西市は震度5弱の揺れで電車は全て

大雨で7月5日から災害本部立ち上げ。6日には電車が不通、高

梅雨本番、降り続く大雨で7月5日から災害本部立ち上げ。6日には電車が不通、高

緊急搬送者も

小学生がブロック塀に挟まれて亡くなるという痛ましい事故。市内でも電車に閉じ込められて気分が悪くなり緊急搬送されたという報道が入ってくる。

時間の経過で情報が増え、被害者も拡大。新名神高速道路(神戸JCT〜高槻JCT)も通行止め。

2018年6月18日7:58 大阪府北部  
マグニチュード6.1 最大震度6弱

川西市(中央町・市役所) (震度計設置場所)	震度5弱
猪名川町(紫合・消防本部)	震度4
豊能町(余野・役場)	震度5弱
能勢町(宿野・役場)	震度5弱

地震で運行停止	復旧時間
能勢電鉄	11:09
新名神高速道路	13:00
JR・阪急電車	※

※ 午後以降、宝塚・神戸  
京都線それぞれ点検終了後

市内保育・教育施設などのブロック塀の点検は終了、対策がはじまっています。

輝け憲法 平和が一番!

市民大集会在川西 夏物語

7月1日、川西能勢口2階通路・広場で、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション川西実行委員会」主催の市民大集會が行われ、私(黒田)もバルーンアートや「おじいさんのできること」という紙芝居を読んだり、「命・人権・最優先 平和が一番 九条最高」ドラムを叩きながらコーラーをしたり、実行委員として参加しました。(宝塚ではエルモ君で参加)写真右から、自由党・渡辺義彦さん、社民党・福島みずほさん、立憲民主党・桜井周さん、日本共産党・宮本たけしさんが、森友・加計学園問題、労働法制や憲法改悪など国会情勢のお話元「五つの赤い風船」の歌、沖繩の歌、憲法クイズや若者スピーチなど、たくさんの方々の参加で暑い暑い集会でした。



# 「病院整備費の総額増える」「国の交付金では足りない」

## ～市の説明、あっさり修正 (#・D°)

### 計画の危うさ早くも

市は(仮称)市立総合医療センターの具体的な内容を「基本計画」の形で7月26日(木)の市立病院整備調査特別委員会(傍聴可能)で示す計画ですが、計画の危うさが早くも表れています。北部医療や公的医療はどうなるか、市の財政は大丈夫か、など市は丁寧に市民に説明し、議会でもしっかり検討すべき。将来に禍根を残さない選択が必要です。そもそも、何年もかけて北部での建替えを検討していたにも関わらず、協和会(協立病院)から手紙(12月)をもらったからとわずか数カ月で発表した(5月)計画ですからほとんど杜撰さが見えてきました。

### 2つの狙いは・・・

「市民の宝物・市立川西病院」をなぜ、つぶすのか。  
 市は主な理由として  
 ①「川西病院の赤字10億円を支えきれない。指定管理制度にすれば指定管理料3億円の支出ですむ」  
 ②キセラ新病院と北部診療所の建設費176億円(＋利息52億円)は100%借金(市債発行)する。償還比率は国40%、協和会50%で、市の負担は10%だけ、というものでした。

### 巨額の借金膨らむ

計画はどこまで緻密に練られたのでしょうか。  
 6月議会で「建設費高騰による市の負担額への影響は？」との質問に、市は「総額は膨らむものと考えております」とあっさり、

国の交付金に関しては「手術室などの設備を充実させねばならず、国基準の36万円/mを超えた

分は交付金が出ず、市の負担になる」とこれもあっさり。

また、キセラ敷地の六価クロム等汚染土壌は「対策が必要」とし、浸水想定区域でもあるため、その対策にもお金がかかります。駐車場の確保も十分でない狭い土地での建設・・・懸念された通り、巨額の借金がさらに膨らむ。それ以外の支出増の恐れが強いのです。新病院が黒字経営になっても「儲けは全て協和会のもの」・・・

### 毎年の出費は続く

毎年の運営費用はどうか。「指定管理者に3億円渡す以外の市の出費はゼロ」との説明は「ごまかし」  
 すでに指定管理料以外に「毎年75億円を支出」と決めておられる。現川西病院とキセラ新病院間のシャトルバスは協和会に委託し市が費用を負担など、様々な費用増。借金は何かあっても市が返済し続けなければなりません。人口減少、市税減少と警鐘を鳴らしているのに、あまりにも無謀と云える計画です。

### 「丁寧な説明を」否決

7月の「基本構想が出た後に丁寧な説明を」との市民の請願が議会に出されましたが、否決されました。当たり前の請願すら否決するのは市民無視の極みではありませんか。(下の記事参照)

### 7月26日 傍聴に

今後、市と市議会の予定や日程は以下の通りです。何があっても、問題が種々出てきても突き進むという態度は許されません。市民の皆さんと一緒にご意見をあげ、考えていきましょう。

### 6月議会

#### 請願・意見書

2件採択、2件不採択

6月議会には市民から3本の請願と1本の意見書が提出されました。「小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願と「ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書」は全員一致で採択、国への意見書提出となりました。委員会付託になった2件は、いずれも当然の請願項目なので、日本共産党議員は紹介議員となつて「採択しよう」と討論し奮闘しましたが、残念ながら不採択になりました。請願内容と結果は以下の通りです。(委員会会議録は9月議会時ホームページなどで開示されます。ぜひご覧ください。)

(敬称略、議長：西山)

〈請願1〉川西の中学校給食の早期実施を求める請願

(厚生文教常任委員会)

☆請願項目：2017年度予算による中学校給食センター方式可能性調査の結果を公表し、住民の意見を広く聞くなど、市長としての説明責任を果たしたうえで、

### ～今後の予定～

- ★ 7月26日(木)午後1:00～  
市立病院整備調査特別委員会  
「医療構想・基本計画」(傍聴可能)
- ★ 8月(日程未定)  
議員協議会(傍聴可能)
- ★ 9月 市民意見を聞く  
パブリックコメント実施  
(しっかりと意思表示しましょう)

## 2学期から始まる予定だった「中学校給食」膨らむ「調査委託料」「センター方式(PFI)事業費」

### 突然の方針転換

明峰中学校でテスト実施し、その後他校に広げようと2016年度に240万円の調査委託費を予算化した自校調理方式の中学校給食計画。計画通りなら今年2学期から給食が始まっていた。

ところが突然、「一斉に実施すべき」と、給食センターから各中学校に配送する「センター方式」に方針転換。久代に4500食もの給食センターをつくるための調査費を550万円計上しました。

### 3度目の変更・・・

給食センターの建設はもともと、土地の確保や各学校への配送費、配膳室の整備などで、自校方式より高額になると指摘されていたこと。案の上、15年間で約80億円もかかると6月26日開催の議員協議会で報告されました。

それなのに性懲りもなく、今度は計

画地を「川西南中学校の第2グラウンド」に変更し、建設・管理・運営すべてを民間委託する「PFI手法」を検討するため500万円の調査費。

### 自校方式で早期実現を

学校給食は、安全・安心・食育の面から自校調理方式が適しており、災害時など地域の「食」の拠点として発展させている自治体もあります。川西には他自治体もうらやむ自校調理方式の小学校給食(完全米飯)もあります。

4500食もの大量一括調理・トラック配送のセンター方式はなじみません。

市民の声や願いを無視し、何度も調査委託料を使い、調査結果を市民にも公表せず、建設コスト、配送費などランニングコストがかさむやり方で突き進むのではなく、「自校調理方式を基本に」の基本方針通り実施すべきです。

任を果たしたうえで中学校給食の早期実施を行うこと  
 ☆請願項目：①市は「基本構想」策定  
 ○賛成議員：住田・北野・黒田・後、すみやかに市民に情報を提供して  
 北上・宮坂・福西・吉富(7人) ください②市は「基本構想」策定後、で  
 ×反対議員：久保・加藤・秋田・森本・鈴木・江見・平岡・大矢根・大崎・小山・多久和・斯波・米澤・ユニティ(こと) 設けてください  
 安田・津田・岡・上田・坂口 ○賛成議員：住田・北野・黒田・北上・(18人) 宮坂・福西・吉富(7人)  
 〈請願2〉市は(仮称)川西市立総合医療センターの「基本構想」策定後、すみやかに市民説明会と意見を聞く場を設けることを求 上田・坂口(18人)  
 鈴木・江見・平岡・大矢根・大崎・小山・多久和・斯波・米澤・安田・津田・岡